

平成16年度 予算審査特別委員会

歳入

予算審査特別委員会を議長を除く十九人で構成し、三月八日から十一日まで開きました。初日は工事予定箇所を現地視察し、二日目からは会議室で町長をはじめ関係職員の出席を求め、各会計予算を慎重に審査した結果、一般会計予算は全会一致（欠席一）で可決しました。特別会計予算については、国民健康保険は賛成一五、反対三（欠席一）で、下水道事業、老人保健、介護保険は全会一致（欠席一）で可決しました。水道事業会計予算については全会一致（欠席一）で可決しました。

歳出

総務

Q 駅前駐輪場の一時利用手数料を半額にしたのはなぜか。

A 以前から利益が出れば、値下げすると言ってきた。

Q 未利用地の売却は。

A 精査して検討する。



安くなりました

Q 新規採用を控えているが、年齢構成がいびつにならないか。

A 十四年度までは採用をしていた。今後については状況を見ながら判断していく。

Q 町長交際費を減額したのは。

A 実態に合わせたもの。

Q 住民基本台帳カード作成時の本人確認はどのようになっているのか。

A 免許証のほか、複数の証明書で確認している。

Q 昨年実施した防犯パトロール事業で指摘された問題箇所は改善されたか。

A 日誌により報告を受けているので警察とも相談して対応している。

民生

Q 徘徊探知システムの委託先はどこか。また、何人くらいを予定しているか。

A ホームネット（カープタクシー）に委託し、十人で予算計上している。

Q 家庭介護教室事業はどこに委託するのか。

A 各中学校区に一カ所ある地域型の在宅介護センターに委託する。

Q 高齢者住宅整備資金貸付金は、毎年計上しなければいけないのか。

A バリアフリー化などに対応するため必要と考え、計上している。

Q 財政の厳しい時、シルバー人材センター補助金は減額できないか。

A 人件費として、町と国で負担している。

Q 老人福祉センター費の消耗品費が増額になった理由は。

A 新設の福祉センター用として計上したため。

衛生

Q 環境調査業務委託料が減額になった理由は。

A 蓄積したデータを利用するなど、調査項目の見直しをしたため。

Q 間違って出されたごみの対応はどのようにしているのか。

A 『ごみを出された方へ、次の理由で収集できませんので、至急持ち帰り、ごみ出しルールを守って、次回収集日に出してください』と、収集できない理由を書いた黄色い紙を張っている。

Q 広域不燃物最終処分場の事業負担金が、昨年の三分の一になっているのはなぜか。



きまりを守ろう

A 事業が進まない状況で十八年度の実施が難しいため、義務的経費のみ計上している。

Q 現在はどこで処分しているのか。

A 五日市吉見園沖である。ごみの減量化にご協力いただきたい。



建設中の福祉センターを議員が監視

商工業振興

Q 法人税の大きな伸びが期待できない時期で、もつと商工業の振興に力を入れてはどうか。

A 町内の企業を回り、意見交換を進めたい。

消防

Q 需用費と備品購入費は何を購入するのか。

A 小型可搬式ポンプ二台とホースを購入。

Q 自主防災組織の推進はどのようになっているのか。

A 四十七自治会のうち、二十六自治会で組織されている。補助金が出るので申請してほしい。

駅前整備

Q 駅南口まちづくりのワークショップの進め方は。

A 地域の方々が参加しやすい方向で考える。



公園

Q 総合公園の整備状況は。

A 現在、面積割合で46%完成。十六年度で56%になる予定。

教育

Q 学校図書の時時点での整備状況は。

A 小学校が101・5%、中学校が106・5%。

Q 標準学力検査委託料とあるが、どの学年に実施するのか。また、町単独で行うのか。

A 町単独で実施し、中学校全学年を対象に、二から三教科で行う。



たくさん本を読みましょう

平成16年度当初予算

一 般 会 計		97億9,100万円
特 別 会 計	公 共 下 水 道	18億6,095万円
	国民健康保険	24億8,038万円
	老 人 保 健	21億7,749万円
	介 護 保 険	11億 849万円
水 道 事 業 会 計		6億4,342万円
計		180億6,173万円



総合公園と織田幹雄先生の顕彰碑

- Q** 小・中学校の警戒、巡回業務はどのようになっていくか。
- A** 八時から十七時まで、警備を業者に委託している。
- Q** 児童虐待が問題になっているが本町ではないのか。
- A** 昨年は一件の情報があり、児童相談所、福祉課、教育委員会が連携して対応した。



ストリートダンス練習中

- Q** 本町の不登校児童・生徒は何人か。また、その対応は。
- A** 三月現在で小学校が十二人、中学校が四十八人。担任や指導員が訪問などして対応している。
- Q** ひまわりプラザの利用者数は。
- A** ストリートダンスやヒップホップなどを考えている。
- Q** 若者の活動と交流の場を提供するところがあるが、その内容は。
- A** 十三年度で十五万人、十四年度は十七万人。